

特記仕様書

Table with 4 columns: 構造 (ORC OSRC OS OW), 階 (地下 地上 3階), 延べ面積 (3,399.64㎡), 建物用途 (商業施設等第一種)

Table with 2 columns: 給排水衛生工事, 空気調和工事. Includes items like 衛生器具工事, 給水工事, 排水工事, etc.

I 一般事項

- 1. 本工事は、本特記仕様書によるほか、国土交通省大臣官房官庁審判部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工種)(平成31年版)...

II 特記事項

- 1. 標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督職員の承諾を得ること。...

III 特記仕様(下記項目及び特記事項中●印を付けたものを本工事に適用)

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Lists items like 1. 現場への準備, 2. 構材, 3. 化学物質を放出する, etc.

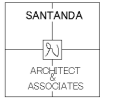
Main specification table with 2 columns: 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for various construction items.

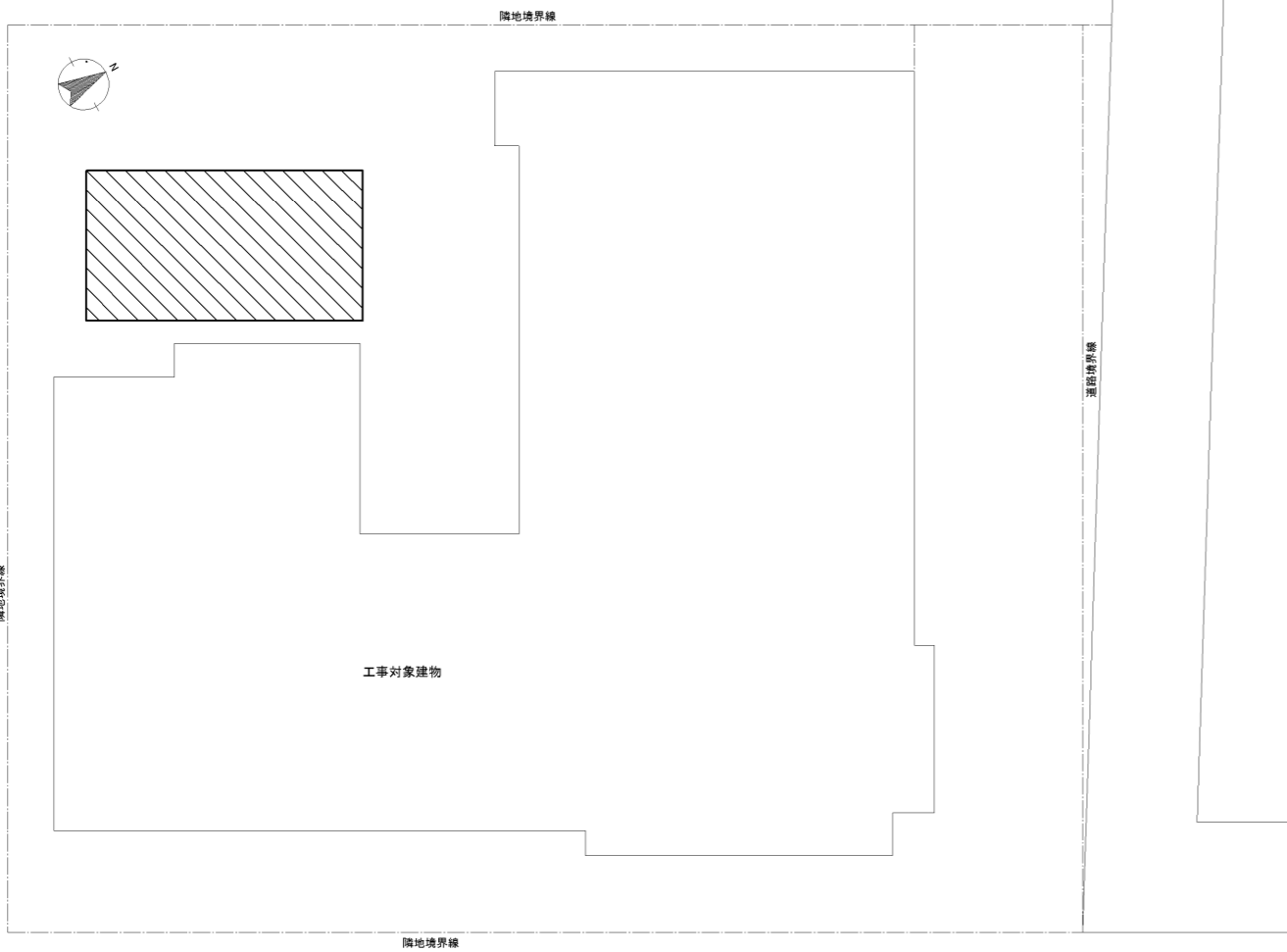
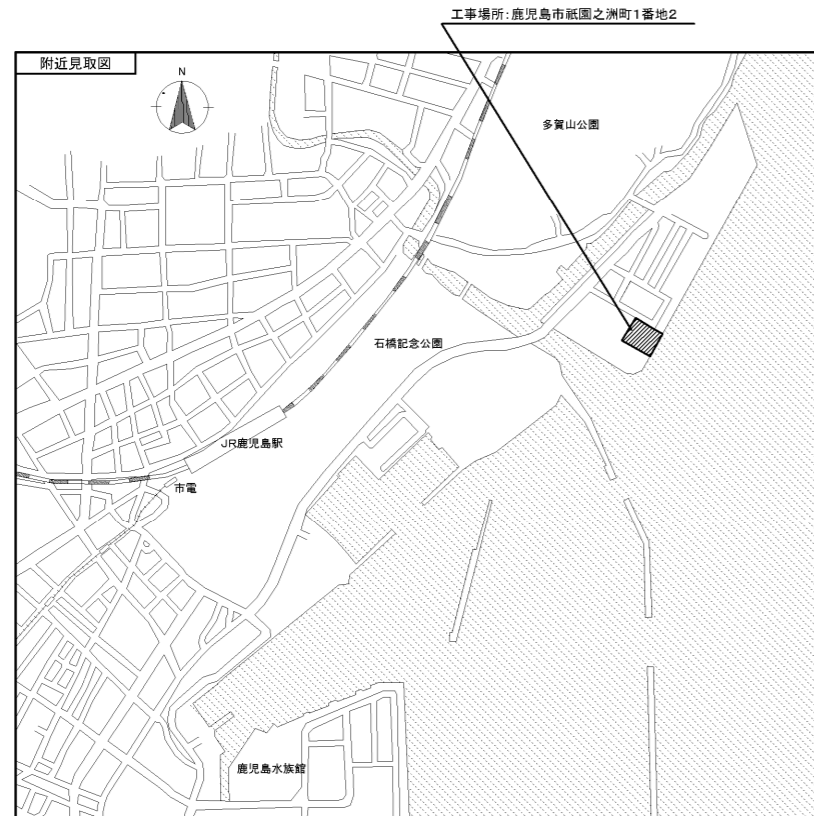
Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for various construction items, including plumbing and electrical work.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for various construction items, including air conditioning and safety measures.

※「グリーン購入法」の対象製品で、下表に指定したものの(機器表に特記がある場合も含む)については、当該製品の現場納入予定時において、その基準をクリアしたものを採用すること。

Table with 2 columns: 対象指定製品, エアコン・温水器・給湯器・電気便座. Lists specific product models and brands.





配置図 S=1:200 :工事対象場所を示す。

配管凡例

記号	名称	管仕様		
— O —	油管(送油)	地中埋設部分	外面硬質塩化ビニルライニング鋼管(黒):ネジ接合	SGP-VL
		屋内露出部分	配管用炭素鋼鋼管(黒):ネジ接合	SGP-ZN
— OR —	油管(返油)	地中埋設部分	外面硬質塩化ビニルライニング鋼管(黒):ネジ接合	SGP-VL
		屋内露出部分	配管用炭素鋼鋼管(黒):ネジ接合	SGP-ZN
— OV —	通気管	地中埋設部分	外面硬質塩化ビニルライニング鋼管(黒):ネジ接合	SGP-VL
		屋外露出部分	配管用炭素鋼鋼管(黒):ネジ接合	SGP-ZN

配管塗装防食仕様一覧表

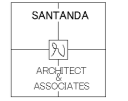
施工箇所	油管	通気管	仕様
地中埋設部分	B	B	A: 裸管のまま
屋内露出部分	C	—	B: ペトラタム系防食テープ巻
屋外露出部分	—	C	C: 調合ペイント2回塗り

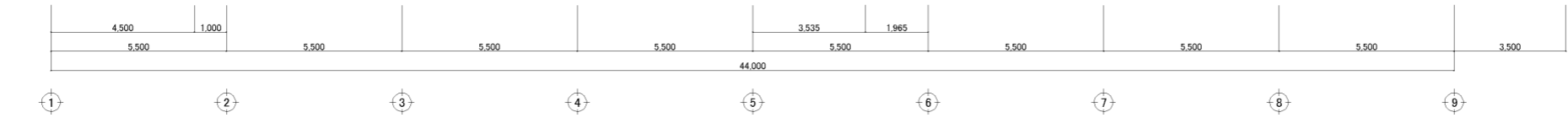
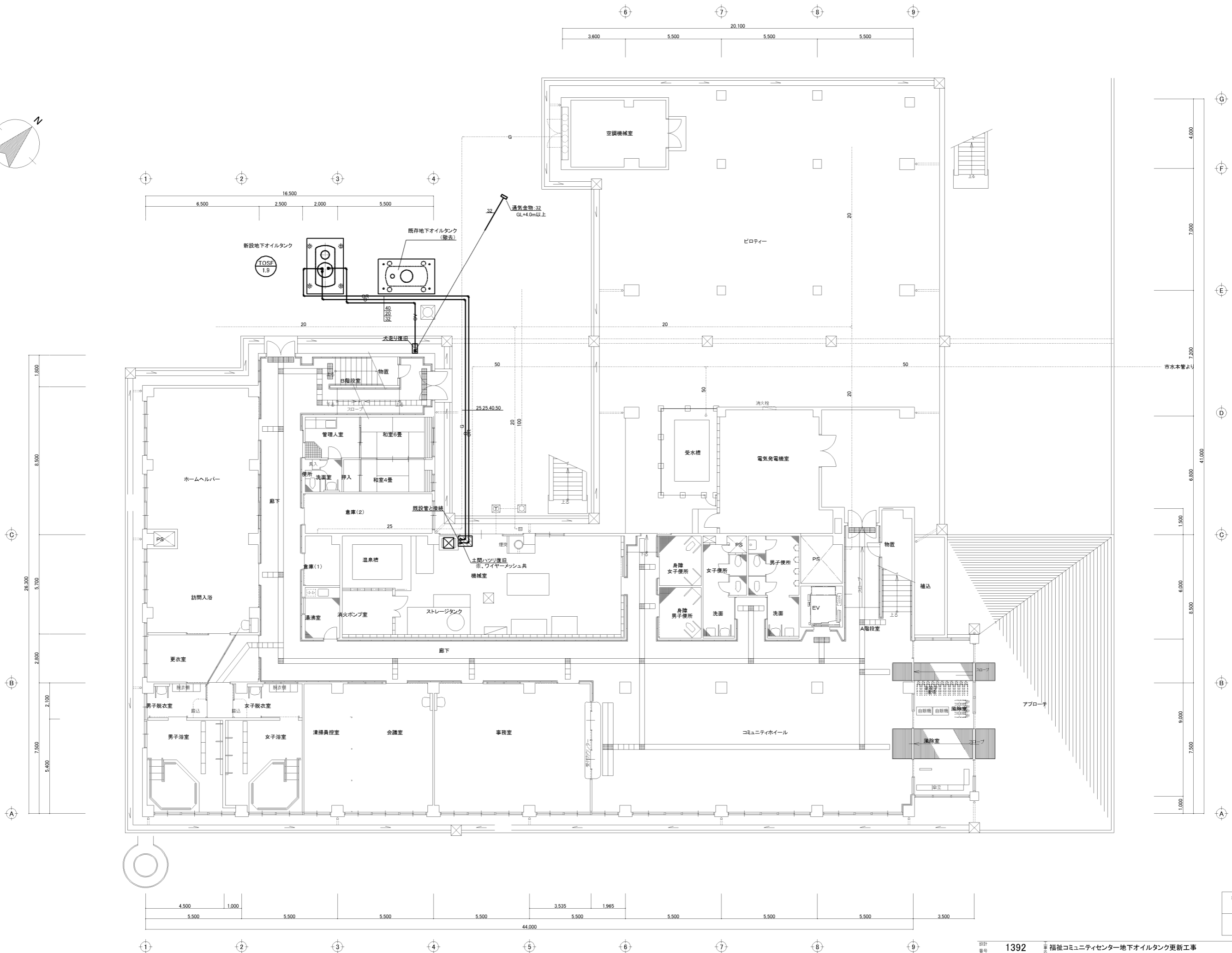
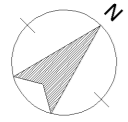
機器表

記号	機器名	台数	仕様	備考
	地下オイルタンク	1	鋼製強化プラスチック製二重殻タンク、燃料:A重油 容量:1,900(L) 付属品(遠隔油量指示計、リークモニター等国交省付属品に準ずる) 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編):TOSF に準ずる。	土工事共 タンク銘板共

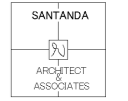
特記事項

- 本工事は既設改修工事のため、下記事項に十分配慮して作業を行うこと。
- 本工事着手前に現地調査を十分行い、施工要領等を把握した上で施工計画書及び工程表を作成し、監督員及び関係者(センター)の担当者等の承諾を得た後に、工事に着手すること。
 - 工事に際しては、騒音及び断水等によりセンターの運営等に支障をきたす事の無いように留意すると共に、事前に関係者(センター)等に連絡し、承諾を得ること。
 - 工事施工に先立ち支障となる機器または移すべき機器等が発生した場合は、事前に協議し了承後に作業に着手すること。
 - 工事期間中は安全作業に努めると共に、火気等にも十分注意して作業すること。
 - 工事期間中は粉塵等の発生にも充分留意し、特に天井作業等に於いては養生を確実にを行い作業すること。
 - 工事期間中に休日及び時間外作業をする場合、事前に関係者(センター)に連絡し承諾を得た後、鍵を借用し、作業すること。
 - 工事に伴いハツリ等を行った場合、原則として原形復旧すること。
ハツリ・コア抜き・アンカー施工の際は、既存電気配管の調査を行った後に施工すること。万一、破損した場合は監督員に報告した後に、速やかに原形復旧すること。
 - 屋外露出及び多湿箇所の支持金物・ボルト・ナット類は全てステンレス製(SUS304)とする。
 - 発生材の処理については、『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』及び『再生資源の利用の促進に関する法律』『建設リサイクル法』等の関係法規に基づき、適正に処理すると共に、マニフェストシステムを適用して管理を行うこと。
 - 既存の壁をコア抜きする場合は壁か梁かどうかを確認し、梁以外の部分を貫通すること。
 - 躯体部分の配管貫通部分は可能な限り既設孔を利用することと、やむをえずコア抜きを行う場合は、事前に鉄筋探査をおこない、必要最小口径で施工すること。
 - 本工事請負業者の選定した機種により、他工事施工者の施工範囲に金額の増が生じた場合は、本工事請負者の負担により施工すること。





1階 平面図 S=1:100



ノズル明細表

タンク材質: SS400

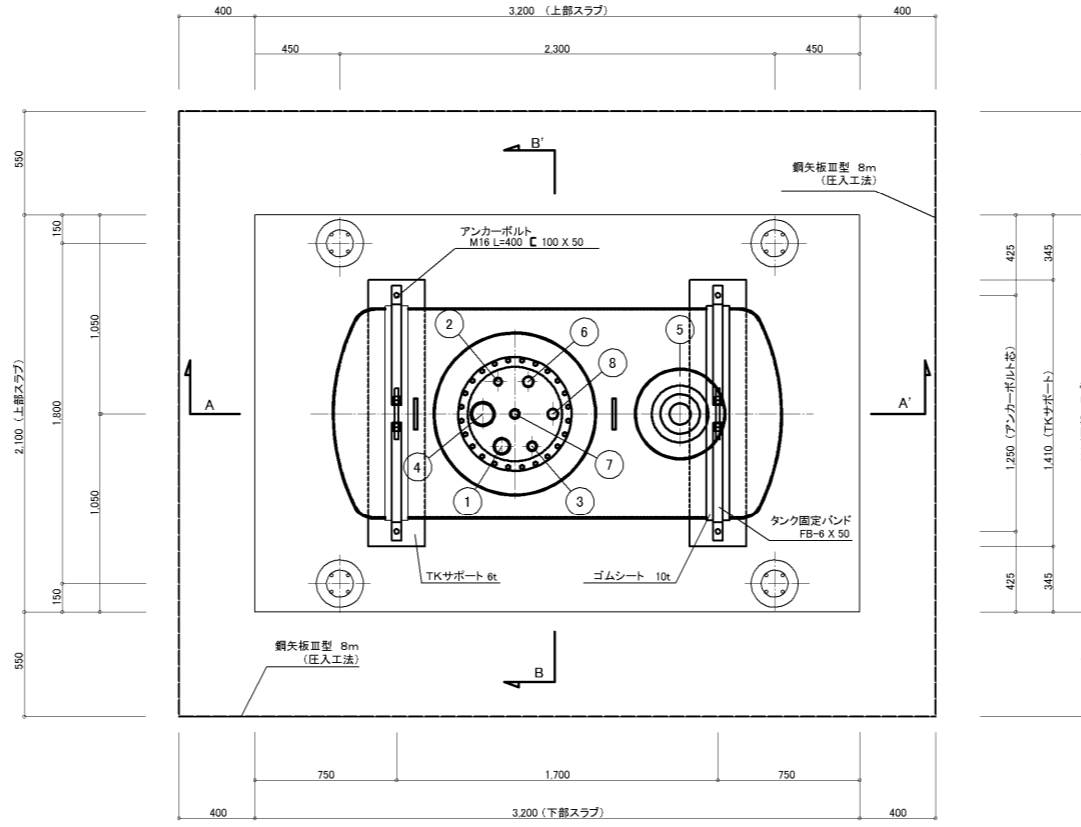
NO.	名称	口径	フランジ種類、形状	パイプ種類	備考
①	注油口	85A	ソケット	SGP	直下にφ500当て板 6t、注油管付
②	送油口	25A	ソケット	SGP	送油管、除水器付
③	通気口	32A	ソケット		
④	液面計口	100A	ソケット		
⑤	漏洩検知管	100A	10K SOP-FF	STPG370 Sch80	
⑥	返油口	40A	ソケット	SGP	直下にφ500当て板 6t、返油管付
⑦	計量口	32A	ソケット		直下にφ500当て板 6t
⑧	除水口	40A	ソケット	SGP	除水管付

容量計算書

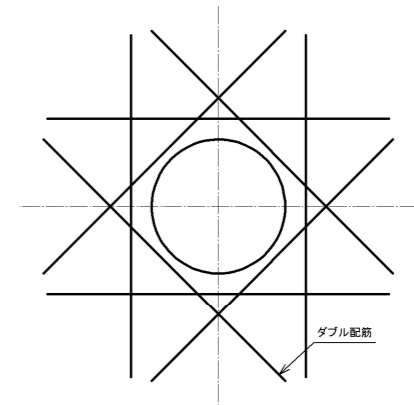
全容量	$(\pi \times \text{半径}^2 \times L) + (0.09896 \times D^3) \times 2$ $(\pi \times 0.550^2 \times 1.940) + (0.09896^3 \times 1.100) \times 2$ $\approx 2.106 \text{ KL}$	2.106L
実容量	1.930	1.930L
空間容量	全容量 - 実容量 $2.106 - 1.930 = 176$ $176 \div 2.106 \approx 0.0835$	8.35%

特記事項

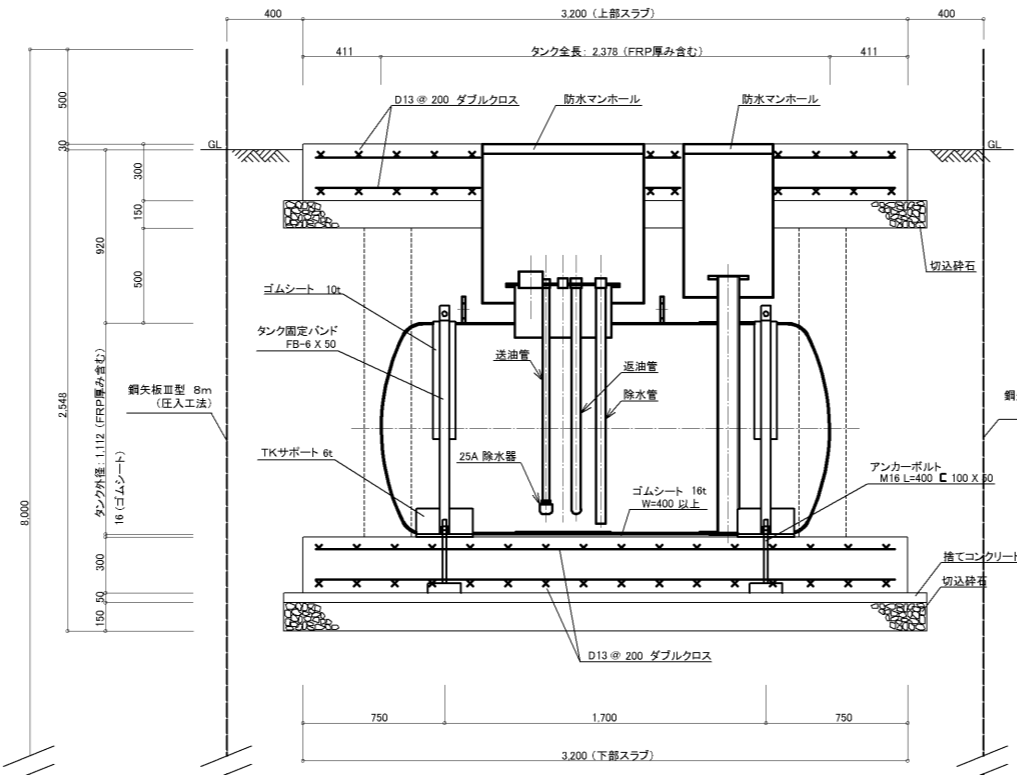
1. タンク附近は火気厳禁のこと。
2. 埋戻し土は石塊等混入物及び有害な有機物(腐食土等)を含まないものとする。



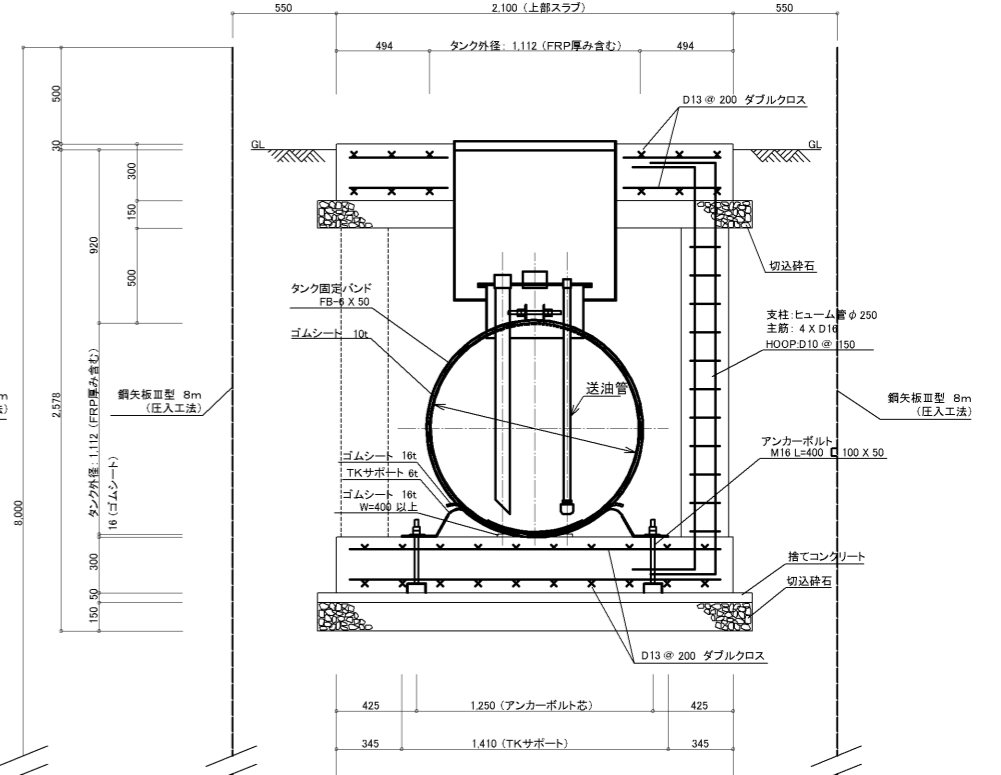
平面詳細図 S=1:20



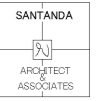
マンホール部分開口補強要領図 S=NO.SCALE

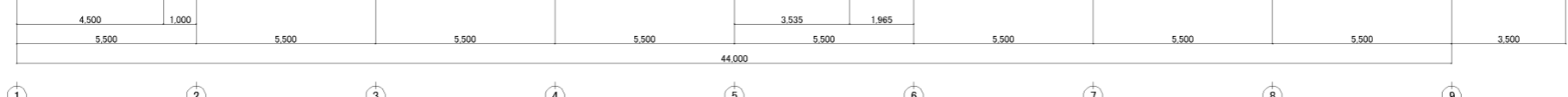
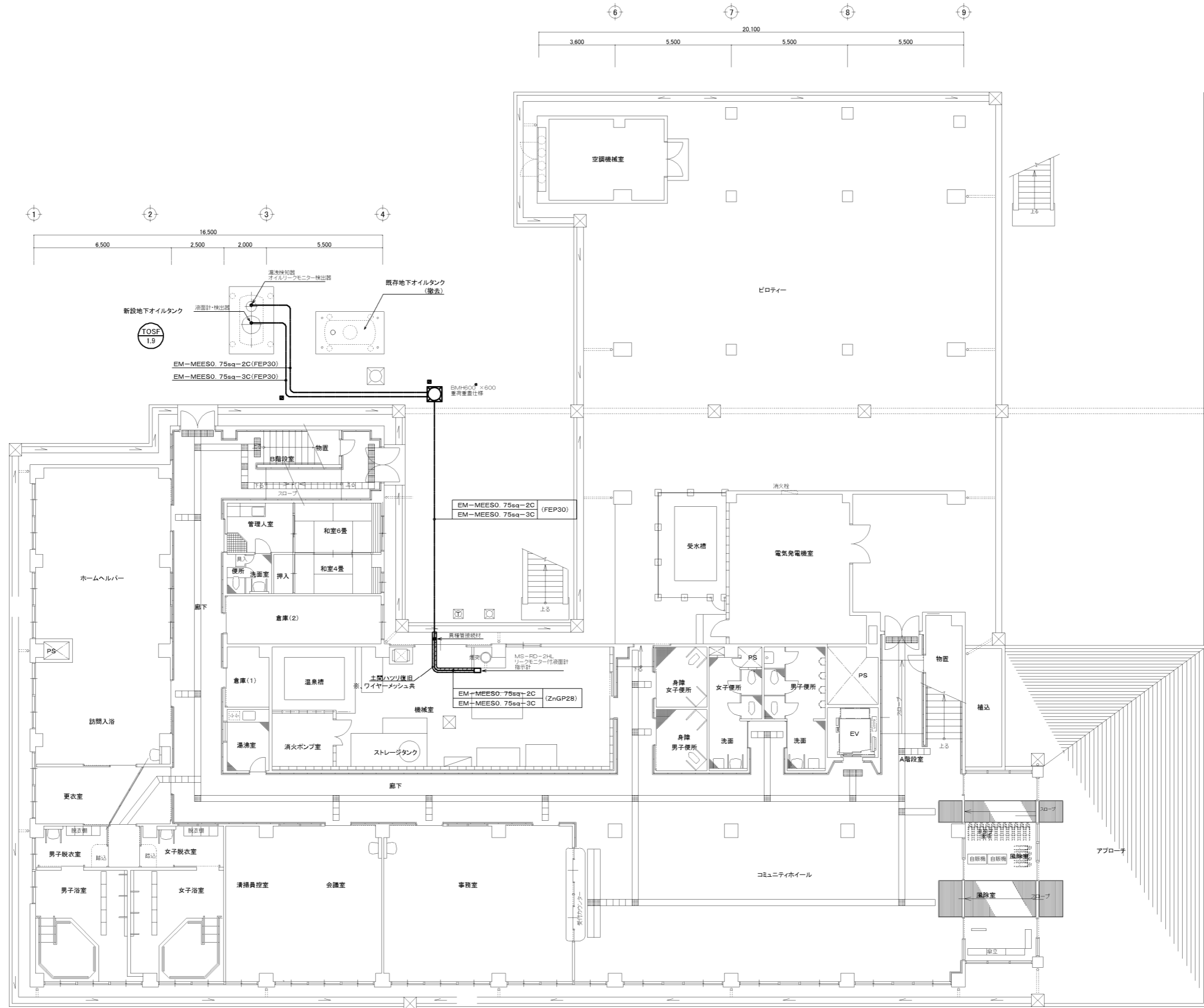
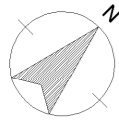


A-A' 断面詳細図 S=1:20

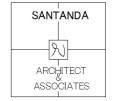


B-B' 断面詳細図 S=1:20



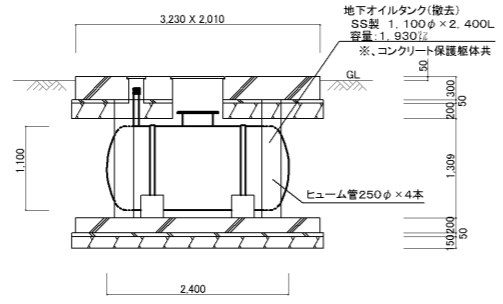


地下オイルタンク 計装平面図 S=1:100 ■ : キャッツアイを示す。

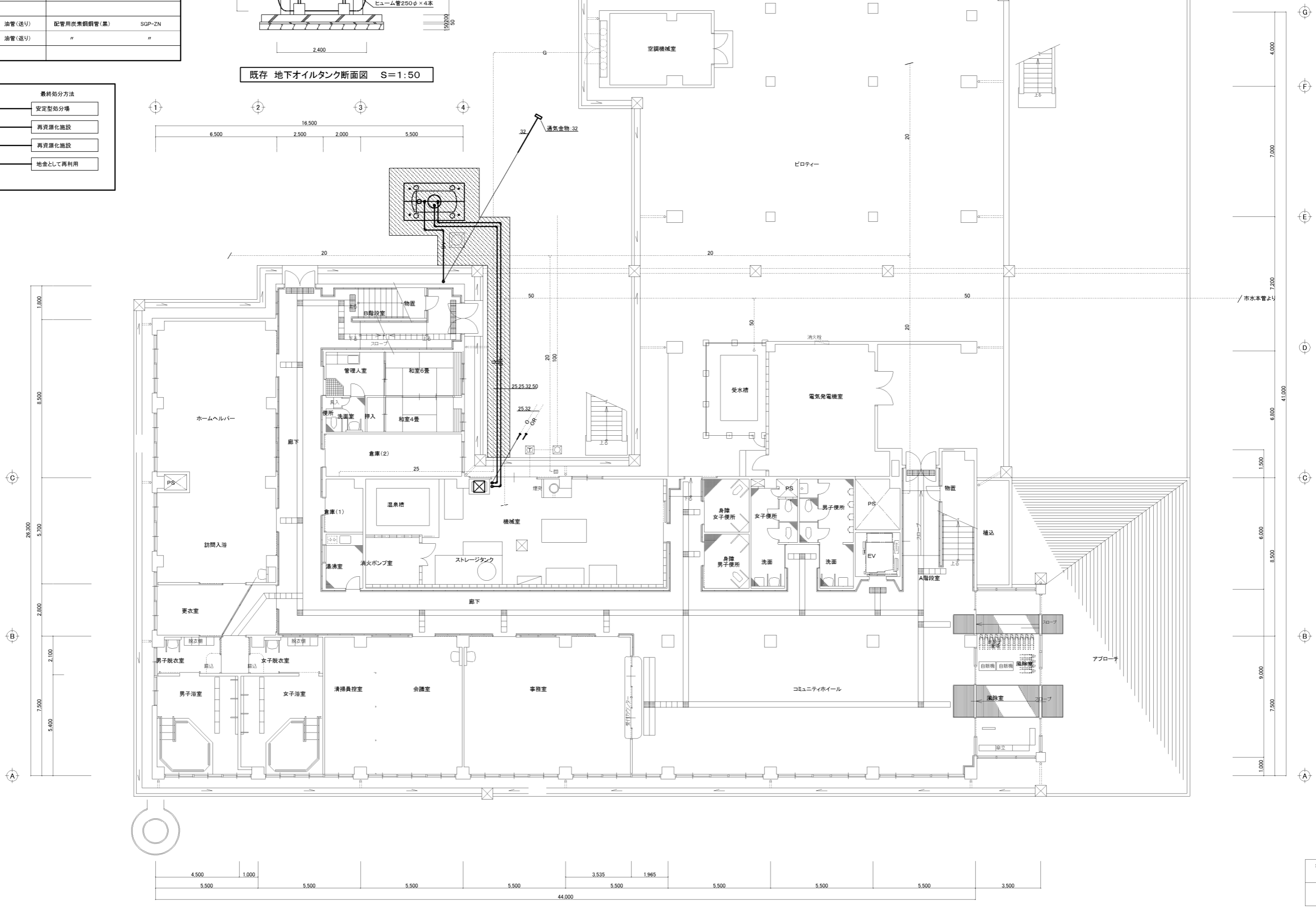


撤去配管凡例			
記号	名称	仕様	
—○—	油管(送り)	配管用炭素鋼管(黒)	SGP-ZN
—OR—	油管(送り)	"	"
—OV—	油管(通気管)	"	"
—○—	油管(送り)	配管用炭素鋼管(黒)	SGP-ZN
—OR—	油管(送り)	"	"

撤去・解体処分材のフロー	
発生する廃棄物	最終処分方法
地下オイルタンク	安定型処分場
コンクリート殻	再資源化施設
アスファルト殻	再資源化施設
管材(鋼管)	地金として再利用



既存 地下オイルタンク断面図 S=1:50



既存 1階 平面図 S=1:100

：アスファルト舗装復旧部分を示す。